

第3回カウントダウン句会

11月12日(日)14時から第3回カウントダウン句会を行いました。7日の夏日から一転、真冬の寒さでしたが熱気あふれる句会となりました。

会場は、今回も東京海洋大学品川キャンパス白鷹館です。みなさんが早めに集まって下さり、予定の開始時間を繰り上げて始まりました。

前回まで3句出句3句選でしたが、今回は3句出句5句選です。参加者は61名、183句の投句がありました。そのうち16名の方が欠席投句、トライアルで参加した方も2名いらっしゃいます。

欠席投句16名の投句48句と選句80句の披講・名乗りをジョニー平塚さん、高浦銘子さん、後藤智子さんがしました。出席者の25%が欠席投句、当日の句会がスムーズに進むように入念な打合せと下準備をしました。

カウントダウン句会は青麗俳句会例会のプレ句会です。例会をより良いものにするための実験的な試みをしています。

今回も司会のジョニー平塚さんが、句会のやり方を説明するところから句会は始まりました。

【句会開始】簡単な自己紹介のあとに互選5句を読みあげていきます。マイクを通した声と清記用紙をめくる音とペンの音があるのにも関わらず、会場がしんとしています。





【主宰による選評】主宰選は★（星ひとつ）★★（星ふたつ）★★★（星みっつ）の順に発表され、作者が名乗っていきます。

★★★（星みっつ）の選評の後、参加者全員の投句183句からおのこの一句を選び丁寧な講評をしてくださいました。推敲のポイント、季語の説明、時には作者の質問にも答えます。たった一人でしかも休憩なしです。

「忘己利他」と「もう懲りた」をかけて、連衆のころざしをお話し下さった黒田杏子先生のお言葉を思いました。

今回は運営がてんやわんやで動画と写真の記録が取れませんでした。和気あいあいとした雰囲気の中、充実した句会になりました。

カウントダウン句会も残すところあと一回です。トライアル参加も可能ですので、ぜひご参加ください。